

# 氷見の土

# 地改良



第48号  
発行所  
氷見市窪938  
氷見市土地改良区  
TEL0766(91)0083

## 新春のご挨拶



氷見市土地改良区理事長

木下 俊男

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様方には、お健やかに新春を迎えることと、心からお慶び申し上げます。また、日頃から、土地改良区の事業運営等に暖かいご理解ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと正月の大雪に始まり、三月には東日本大震災、七月には新潟・福島豪雨、さらに九月の台風十五号に

よる暴風雨など、日本各地で自然が猛威を振るいました。

幸いなことに氷見市では、心配されました豪雨災害や台風の直撃被害も無く、梅雨明けが例年になく早く、日照などの条件に比較的恵まれたため稲の生育が良く、八月に入ってから昨年のような猛暑とならなかったため、稲作には恵まれた天候でありました。

このため、富山県産水稲の作況指数は、全国平均の「一〇一」に比べ「一〇三」の「やや良」であり、心配されました「一等米比率」も八十二%と、昨年の六十四%から十八ポイントの大幅改善となりました。

また、新米の売れ行きについては、福島原発等の事故を受け、消費者が食の安全に敏感になっていくことから、これまで取引のなかつた首都圏の卸業者や小売店から注文や問い合わせが相次ぎ、JA全農から卸売業者への価格も値上がりしていると伺っています。農業に携わる者としては複雑な思いであり、一日も早い被災地の復興を願うものです。

一方、工事関係では、震災復興財源確保等により国の財政も大変厳しい状況とお聞きしていますが、経営体育成基盤整備事業の着手

三年目となる大浦地区、及び着手二年目の七分一地区に、それぞれ七千万円と五千万円の追加補正が見込まれ、当初予算と合わせた事業費は四億四千万円となり、両地区とも四十%を越える進捗率となりました。

これも偏に、県・市のご指導ご支援によるもと心より感謝を申し上げます。

ご承知のとおり、昨年の九月に民主党では三人目となる野田内閣が誕生し、TPP交渉参加に向けて、国際競争力の弱い水田農業の規模を十倍程度に広げることや、六次産業化の推進による体質強化等の農業再生基本方針をまとめました。

氷見市は一戸当たり耕作面積が県内最少で、全域が中山間地域であるため、農地集積には限界がありますので、農業情勢がどのように変わろうとも、当市における農業振興の基本は「恵まれた農村環境による安全で安心な良質農産物の生産」であります。

私ども土地改良区は、引き続き食糧生産の要となる農業用施設の維持管理を通しまして、氷見市農業の振興と農村環境保全に精力的に取り組んで参りますので、組合員の皆様には、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終りに、組合員各位のご健勝ご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。





氷見市長 堂故 茂

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、新春の門出を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、市民の皆様が待望されておりました市民病院を竣工することができました。これも、市民の皆様はじめ関係各位のご理解とご協力によるものであり深く感謝申し上げます。新病院は、急性期病院としての機能が格段に向上し、安全で安心して療養していただける環境が整っております。今後、金沢医科大学とともに、市民の皆様信頼される、より良い医療の提供に努めてまいりたいと考えて

おります。

また、北大町市有地では、本市の有する産業・自然などを活用した「オール氷見」による賑わい創出のための交流・観光施設等の整備に取り組んでおります。今年三月の能越自動車道灘浦IC(仮称)の開通や、平成二十六年度の北陸新幹線の開通も見据え、更なる交流人口の拡大を図ってまいります。

さて、農業を取り巻く情勢につきましては、米価の下落や米生産目標の削減、土地改良事業費の削減、農業用施設の老朽化、さらにはTPP交渉への参加問題など非常に厳しいものがあります。

市といたしましては、皆様から

お聞きした切実な思いを、国や県、関係機関に強く要望するとともに、今後も引き続き集落営農組織の育成や、地消地産の一層の推進などを図り、今まで以上に食文化などの本市の個性を伸ばしながら、市民一人ひとりが将来に明るい希望を持てるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

新しい年も、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご多幸を心からお祈りしまして、新年のご挨拶といたします。

平成二十四年元旦  
氷見市土地改良区

理事長

木下 俊男

常務理事

小橋 賢治

職務代理

瀬戸 三男

理事

坂本 昭男

北村 孝信

高木 治雄

原田 育弘

尾矢 公道

前田 秀昭

辻 善一

東 清夫

新屋敷義成

山外 一郎

大石 勝巳

大橋 豊一

山崎 貴

上野富士雄

開上 茂一

扇浦 一男

濱本 昌宏

木和田 勝

総括監事

野畑 圭造

総括監事

玄 勉

監事

飯山 喜作

田中 賢治

十二町潟  
沿岸管理区

管理区長

崎山 修

副管理区長

高木 治雄

代表監事

柳 銑次

監事

西川世司 廣

山田 弘文

他職員一同





◆ 高岡農林振興センター所長 横山 直一

新年明けましておめでとうござ  
います。

組合員の皆様方には、お健やか  
に新春をお迎えのことと心からお  
慶び申し上げます。また、日頃か  
ら当センターの農業農村整備事業  
や普及指導事業活動等の円滑な推  
進にご理解とご協力を賜り、厚く  
御礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災とその後  
の原子力発電所事故の影響により、  
命と絆の尊さと危機管理の重要性  
を再認識された方も多いと思いま  
す。県内においても9月の台風に  
より農作物や農地・農業用施設が  
被害を受けました。また、生肉に  
よる食中毒事件などもあり、日頃

から食の安全・安心と防災対策の  
徹底を、皆様方や関係機関・団体  
とともに力を合わせてしっかりと進  
めていかなければならないと、心  
を新たにしているところです。

さて、近年の農業情勢はTPP  
交渉の議論に象徴されるよう極め  
て厳しいものがあります。土と水  
を育む農業農村整備予算は、平成  
22年度に大幅圧縮されて以来、各  
種の要望に対し迅速できめ細かな  
対応が難しくなっております。

担い手の育成と集約化を進める農  
地の大区画化や、震災により重要  
視されている防災耐震化、また維  
持管理費低減を図る施設の長寿命  
化などの事業に重点を置き、予算

の集中を図ることが求められてい  
るところです。

貴土地改良区管内における農業  
農村整備の取り組みとしましては、  
大区画ほ場整備事業の大浦地区、  
七分一地区は、着手から4、3年

目となり整備のピークを迎える時  
期となります。また、一昨年、堤  
体に損傷が発生した島尾大池につ  
いては、来年度より改修整備に取  
り組めるよう、手続きを進めてい  
るところです。

また、地域ぐるみで農業用施設  
の他、地域資源を保全管理する活  
動を支援してきた農地・水保全管  
理支払交付金では、今年度より施  
設の長寿命化への取り組みが追加

され、多くの地域で取り組んでい  
ただきました。これは、30～40年  
前の農村社会でみんなが携わった  
日常の農作業や賦役を体験してい  
るようで、まさに農耕民族に本来  
備わっている本能を何十年ぶりが  
で感じられる活動となったのでは  
ないでしょうか。

皆様方におかれましては、地域  
農業の振興のみならず、農業農村  
の持つ多面的な機能の発揮に対し  
多大なるご貢献をいただいている  
ところですが、今後とも新たなコ  
ミュニティーづくりに積極的に参  
加され、地域の「絆」を守り育て  
ていただきますようお願い致しま  
す。

終わりに、本年が災害なく穏や  
かで実り豊かな一年でありますよ  
うお願いいたしますとともに、組合  
員の皆様方のますますのご健勝を  
祈念いたしまして年頭のごあいさ  
つにかえさせていただきます。



### 第三十九回 通常総代会の開催

第三十九回通常総代会が、去る平成二十三年三月十七日(木)午後一時二十分から水見市農業会館四階ホールにおいて、総代六十六名参加のもと開催されました。

会議に先立ち、東日本大震災で亡くなられた方々に黙とうを捧げました。その後、小橋賢治理事長職務代理の挨拶に引き続き、横山直一富山県高岡農林振興センター所長様、江添良春水見市建設部長様の両氏からご祝辞を頂きました。

十二町地区の崎山修総代を議長に選出し、平成二十三年度事業計画、同一般会計収支予算及び特別会計収支予算等の八議案と報告第一号の中間監査報告については、何れも原案通り可決又は承認されました。主な内容は下記のとおりです。又、同総代会で行われた理事二名の欠員に伴う役員選挙では、水見市久目一〇五六番地、木下俊男氏及び水見市小久米六二七番地、上野富士雄氏の両名が無投票で当選されました。その後、組織役員会で木下俊男氏が理事長に互選され、就任の挨拶の後、午後三時二十五分に閉会となりました。また、未曾有の大災害をもたらした東日本大震災に対し、この総代会及び三月十五日に開催された十二町瀧沿岸管理区代議員会において、皆様方からご協力を賜った義援金は、北日本新聞社を通じて寄付いたしました。一日も早い復興を心からお祈りいたします。

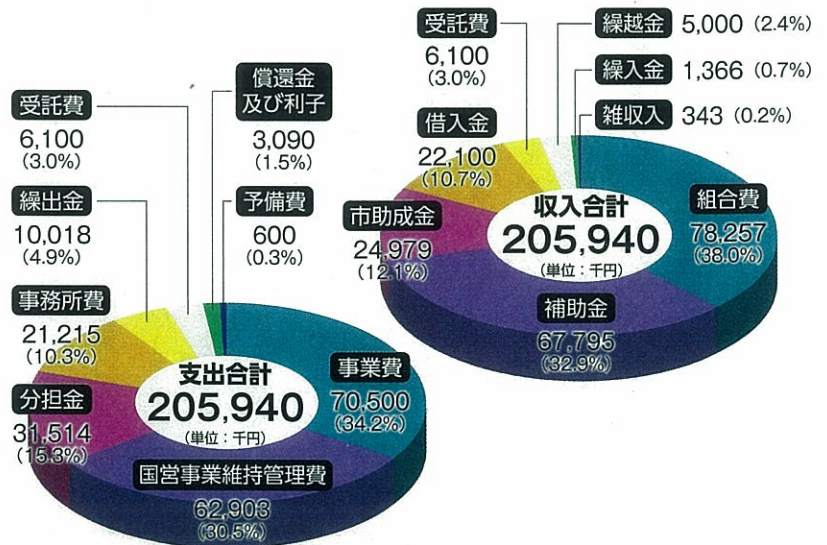
#### 平成23年度 土地改良維持管理事業計画の概要

地区名	事業内容
<b>土地改良施設維持管理適正化事業</b>	
島尾	揚水機更新 2台
島尾	小型水門塗装
鞍川	用水路改修 L=100.0m
柿谷外	電磁流量計更新
十二町	揚水機改修 他
<b>県単独農業農村整備事業</b>	
稻積	用水路改修 L=205.0m
十二町	安全柵整備 L=118.0m
中尾	農道舗装 L=190.0m
中村	排水路改修 L=54.0m
脇之谷内	表面水排除 1.0式
<b>戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業</b>	
大野	排水路改修 L=580.0m
<b>農業用水水源地域保全対策事業</b>	
市内一円	施設表示看板等 1.0式

#### 平成23年度 一般会計収支予算

(単位：千円)

本年度	前年度	比較増減
205,940	166,397	39,543



#### 平成23年度 特別会計収支予算

(単位：千円)

##### 国・県営かんがい排水事業積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
162,333	163,046	△ 713

##### 転用決済積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
12,000	29,644	△ 17,644

##### 役員退任慰労積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
4,172	4,072	100

##### 職員退職給与積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
56,307	49,690	6,617

##### 基本財産積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
136,253	127,762	8,491

##### 国・県営かんがい排水事業維持管理積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
277,851	264,012	13,839

##### 国・県営かんがい排水事業維持管理修繕費積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
35,942	38,336	△ 2,394

##### 十二町瀧沿岸管理区特別会計

本年度	前年度	比較増減
45,565	53,279	△ 7,714

##### 十二町瀧沿岸管理区転用決済積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
23,424	22,847	577

##### 十二町瀧沿岸管理区維持管理積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
18,155	18,157	△ 2





平成二十三年  
第一回臨時総代会の開催

平成二十三年十一月二十五日(金)午後一時三十分から、平成二十三年第一回臨時総代会が氷見市農業会館四階ホールにて開催されました。当日は、公務ご多忙の折にも拘らず、江添良春氷見市建設農林部長様、屋敷宗一農林課長様及び中田正俊建設課長様のご臨席を賜りました。会議に先立ち、木下俊男理事長の挨拶の後、江添建設部長様からご祝辞を頂きました。出席総代六十八名の中から上庄地区の新井豊総代を議長に選出し、平成二十二年事業報告及び同一一般会計収支決算等の五議案について審議され、何れも原案通り可決又は承認されました。主な内容は次のとおりです。その後小橋賢治理事長職務代理の閉会の挨拶があり午後三時二十五分に閉会となりました。

平成22年度 一般会計収支決算

収入総額 **163,972,596円**

支出総額 **153,833,146円**  
(次年度繰越金 10,139,450円)

● 収入

(単位：円)

款 項 目	本年度 決算額	本年度 予算額	比 較	
			増	減
1 組合費	70,279,187	69,786,000	493,187	
2 受託費	6,962,000	6,962,000	—	—
3 補助金	27,043,000	26,914,000	129,000	
4 市助成金	22,178,561	22,269,000		90,439
5 雑収入	722,305	361,000	361,305	
6 借入金	24,682,940	27,550,000		2,867,060
7 繰入金	1,514,470	1,965,000		450,530
8 繰越金	10,590,133	10,590,000	133	
収入合計	163,972,596	166,397,000		2,424,404

● 支出

(単位：円)

款 項 目	本年度 決算額	本年度 予算額	比 較	
			増	減
1 事務所費	14,963,951	22,700,000		7,736,049
2 償還金及び利子	6,089,858	7,184,000		1,094,142
3 事業費	16,562,000	16,830,000		268,000
4 国営事業維持管理費	58,116,471	57,881,000	235,471	
5 受託費	6,962,000	6,962,000	—	—
6 分担金及び負担金	37,918,866	41,278,000		3,359,134
7 繰出金	13,220,000	13,220,000	—	—
8 予備費	0	342,000		342,000
支出合計	153,833,146	166,397,000		12,563,854

平成22年度 特別会計収支決算

(単位：円)

国・県営かんがい排水事業積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
163,046,000	163,006,815	163,006,815	0

転用決済積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
29,644,000	32,679,990	15,987,996	16,691,994

役員退任慰労積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
4,072,000	4,072,559	180,000	3,892,559

職員退職給与積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
49,690,000	52,398,148	0	52,398,148

基本財産積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
127,762,000	127,893,884	0	127,893,884

国・県営かんがい排水事業維持管理積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
264,012,000	265,696,650	0	265,696,650

国・県営かんがい排水事業維持管理修繕費積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
38,336,000	38,451,580	4,705,100	33,746,480

十二町潟沿岸管理区特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
53,279,000	53,522,358	50,091,319	3,431,039

十二町潟沿岸管理区転用決済積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
22,847,000	22,854,814	0	22,854,814

十二町潟沿岸管理区維持管理積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
18,157,000	18,155,964	0	18,155,964



## 氷見市土地改良協会 平成二十三年度総会の開催

氷見市と市内四土地改良区及び十四工区で組織する氷見市土地改良協会の平成二十三年度総会が、平成二十三年五月三十日(月)午後二時三十分から氷見市土地改良区二階会議室で、会員十四名出席のもとに開催されました。

野畑副会長の挨拶の後、来賓の江添氷見市建設農林部長様からご祝辞を頂きました。副会長が議長を務め、提案された四議案については何れも承認又は可決されました。また、同総会で行われた役員の選出では新たに理事五名、監事二名が選出されました。同協会長には野畑圭造氷見市柳田土地改良区理事長、副会長には木下俊男氷見市土地改良区理事長が選任され、新しい執行体制が決まりました。



### ●平成22年度 一般会計収支決算

(単位：円)

予算額	収入決算額	支出決算額	繰越額
900,000	923,367	895,904	27,463

### ●特別会計

(単位：円)

予算額	収入決算額	支出決算額	繰越額
2,013,000	2,013,416	300,000	1,713,416

### ●平成23年度 一般会計収支予算

(単位：千円)

本年度	前年度	比較増減
1,150	900	250

### ●特別会計

(単位：千円)

本年度	前年度	比較増減
1,714	2,013	△ 299

## 十二町潟沿岸管理区 代議員会の開催

平成二十三年三月十五日(火)午後三時三十分から、十二町潟沿岸管理区第二十九回代議員会が開催されました。北村孝信代議員を議長に選出し、平成二十一年度事業報告及び同一般会計収支決算等の九議案と報告事項については何れも可決又は承認されました。また、同代議員会で行われた任期満了に伴う役員の選出では、新たに理事十名、監事二名が選出され、同管理区長には崎山修氏、代表監事には柳銑次氏が就任いたしました。

## 会計検査を受検

去る十一月九日(水)高岡農林振興センターにおいて、会計検査院農林二課の会計検査を受検しました。検査対象は、国営造成施設管理体制整備促進事業の強化支援費で、人件費の算出根拠となる業務日誌の整備や保管等について確認され、業務日誌についてより詳細なものを作成するようにと指導を受けました。



## 桑院ため池土砂排除

氷見市最大のため池である桑院ため池(最大貯水量80万トン)では、昨年のかんがい期終了とともに段階的に水位を下げ、去る10月11日(火)に底樋ゲートを開放し、底部に堆積した土砂の排除を実施しました。

当日は、農業用水と水源林の関わりや、そこに住む生き物調査等を目的とした自然学習会が併せて開催され、氷見市立久目小学校児童40人が参加しました。午前10時に底樋ゲートを開放すると、土砂

とともに大量の魚が桑院川へ流れ出し、下流では地元住民総出で、ブラックバスやブルーギルといった外来魚、数百匹のフナや体長80cmを超える鯉などを捕獲しました。また、底部には、ため池築造前の桑院川の形跡が見受けられ、改めて先人たちの苦労と努力を知らされることとなりました。

その後の自然学習会では、上田聡氷見市土地改良区主任による水源林と農業用水との密接な関わりや、西尾正輝氷見市生涯学習課学芸員によるため池に生息する生き物の説



水没した橋がありました



明及び外来魚による生態系破壊の実情等を学習しました。

学習会に参加した児童からは、「きれいな水を作る森林の大切さを知った。」、「近くの池にこんなにたくさんの生き物がいることを知った」等の感想が寄せられ、実りある学習会となりました。

現在、桑院ため池は来年度のかんがい期に向けて、貯水を行っています。受益面積約785haの水源として、今後適切な管理を行ってまいります。



## 平成23年度の導水量

本年度の五位ダムからのかんがい用水導水量は、約四十一万<sup>m</sup>で前年度に比べ約三二万<sup>m</sup>の減となりました。

昨年は、平年より六日遅く梅雨入りし十五日早く梅雨明けと非常に短い梅雨時期を経て、七月には連日の猛暑日に見舞われました。しかし、八月に入ると一転断続的に雨が降ったこともあり、稲作にとっては恵まれた気象条件であったといえます。

それに伴い、下記グラフにあるとおり七月の使用水量が過去最高となりましたが、皆様方のご協力により大きな混乱もなく収穫を迎えることができました。

現在、来年度の安定配水に向け、施設の点検調整及び必要な修繕等を行っております。

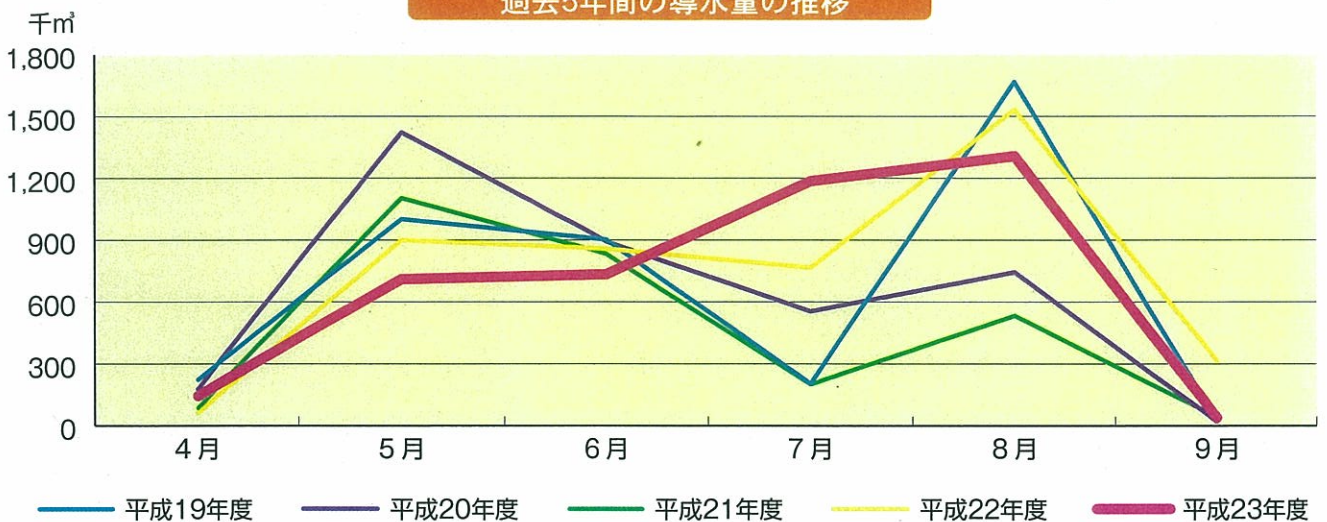
皆様方には給水管

や注水工・空気弁からの漏水及び溢水等を見られた時には、大変お手数ですが氷見市土地改良区(九一〇〇八三)までご連絡下さいますようお願い申し上げます。



漏水補修状況

### 過去5年間の導水量の推移



### 組合員の皆様へ

こんな時には、必ず届出をしてください。

- ・田が荒廃している場合
- ・組合員が死去された場合
- ・農地を売買・贈与・交換・相続等した場合
- ・農業者年金受給のため経営移譲した場合
- ・住所や組合員名を変更した場合
- ・田を水稲以外に利用している場合

届出用紙は  
事務局にあります

申請書類はホームページからもダウンロードできます。

水土里ネット氷見

検索